

# 日本宇宙少年団静岡磐田分団2018年活動

5月活動報告 入団式&科学実験教室 「巨大惑星にせまる！」 (5月27日)

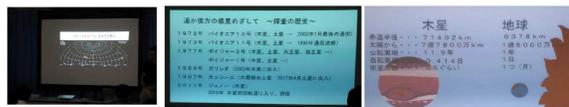


今年の新入団員は14名になりました。20期生です。

短冊の宇宙サイズです。①の答え 木星②の答え 土星。③の答えはすべてに当てはまる惑星は、金星です。



惑星には岩石でできたものとガスでできたものに分けられます。



現在、南の空に木星と西の空に金星を見ることができます。

はるか遠い惑星のことが分かってきたのは君たちが生まれる前に打ち上げられた探査機のおかげです。

巨大惑星(木星)と地球をくらべてみましょう。



木星は地球よりもはるかに大きいことがわかります。

木星は地球よりもはるかに大きいことがわかります。

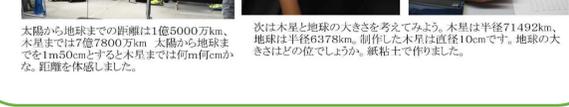
木星は地球よりもはるかに大きいことがわかります。



太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km

太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km

太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km



太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km

太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km

太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km 太陽から地球までの距離は1億5000万km、木星までは約7800万km

6月活動報告 「水ロケット工作教室」 (6月23日)



ワークピア磐田と合同開催、50名の子供たちで行ないました。

(6月23日)



尾翼は上手に作り付けられました。



次はノズルの製作です。このころから、雨が降り出してきました。飛行は中止になりました。

7月の水ロケット大会に向けての活動です。残念ながら7月10日は台風で大会は中止になりました。9月に延期されたがまだ中止の可能性があります。



8月活動報告 「サマーキャンプ2018」あいちごや分団との合同開催 (8月25、26日)



恒例のサマーキャンプはいい天候に恵まれました。まずはみんなで協力してテント

打ち上げ会場にて事件があり立ち入り禁止、モデルロケット打ち上げ中止。キャンプ施設の崩壊により、キャンプターゲット、観望台はゲームを行いました。



あいちごや分団のお友達と一緒に記念写真を撮りました。

朝のラジオ体操



朝のラジオ体操

朝のラジオ体操

10月活動報告 「地球の大気の重さを体感しよう」 (10月27日)



わりばしのもち子をつけてたじきをまっすぐに持ち上げると板が落ちます。これは空気が重いです。1cm四方の紙におよそ1kgの空気がついています。

まくらカットしたクリアファイルをガラスにくっつけると落ちません。これは張り付いているのではなく空気が押しているのです。



アルミ缶の中の空気を出すにはあたまで空気がふくらんだ時にフタをします。

アルミ缶の中を空にするにつづれば、人が空気の重さを感じないのはからだに空気が水がはいていて中から押し合っているからです。



1851年マダガスカル市長 R.マダガスカルは、みずから製作した真空ポンプを用いて、命懸けの試みの連続を合せてその内部の空気を抜き、各球に吸着する馬をつないで左右に引寄せたが、2つの半球は離れなかった。彼はこの公開実験により大気圧の大きさを大衆に示した。これをマダガスカル半球と呼ぶ。ブリタニカ大辞典解説

マダガスカル半球と呼ぶ。ブリタニカ大辞典解説

11月活動報告 「ロケット」へしくを知って飛ばそう (11月17日)



ロケットサイズ！

自分たちが思いロケットを書きましょう。

かさ袋ロケットをつくらう。



宇宙を飛ばすロケットはつばさはありませんが空気の中を飛ばすロケットはつばさがあります。安定するためにはおしりの方につばさが必要になります。

かさ袋をふくらめて、

かさ袋ロケットを飛ばしました。



ロケット、衛星サイズ！

続いて、アロマキャンドル作りにはまりました。

アロマキャンドル作り



アロマキャンドル作り

アロマキャンドル作り

アロマキャンドル作り



アロマキャンドル作り

アロマキャンドル作り

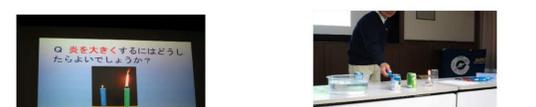
アロマキャンドル作り

1月活動報告 「燃える科学！」 ～ろうそくからロケットまで～ (1月27日)



ろうそくの燃えるようすを観察しスケッチしよう。

ろうそくは、ろう(パラフィン)が熱で固体から液体になって芯の上がり、さらに気体となって燃えます。



ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。



ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。



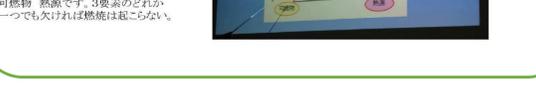
ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。



ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。



ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

ろうそくの芯を太くする。太くすることで燃料を多くはくすることができる。

2月活動報告 「リンゴは木から落ちるが月も落ちている？」 (2月23日)



運動の法則 第1法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。



慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。



慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。



慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。



慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。



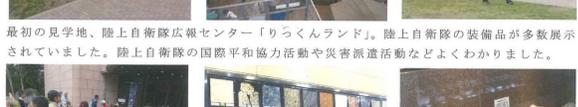
慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

慣性の法則 (慣性の法則) 物体が力の作用を受けないとき、静止しているものはつぎも静止し、進行しているものはつぎも等速直線運動を続ける。

3月活動報告 研修旅行「筑波宇宙センターほか」



最初の見学地、陸上自衛隊広報センター「りらくランド」。陸上自衛隊の装備品が多数展示されています。陸上自衛隊の国際平和協力活動や災害派遣活動などよくわかりました。



筑波にある産業技術総合研究所にある地質標本館を見学しました。たくさんの岩石や地質標本、化石などが展示されていました。



恐竜の足あとと化石、大きいですね。 つくば宇宙センター、まずはHII\*カブの前で記念撮影。



宇宙飛行士養成棟と撮影が禁止されている国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」管制センターを見学しました。



宇宙飛行士養成棟と撮影が禁止されている国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」管制センターを見学しました。

## 20周年を迎えました

日本宇宙少年団 静岡磐田分団の活動

- 1999年5月 結団式 静岡磐田分団誕生
- 2000年3月 向井千秋 講演会
- 2000年8月 研修旅行 筑波宇宙センター
- 2001年10月 水ロケット大会
- 2002年7月 鳥人間コンテスト 出場
- 2003年5月 JAXA (当時NASDA) 松浦直人氏講演会
- 2004年8月 JAXA スペース・ウィズ'04 参加
- 2005年5月 200°Cの世界
- 2006年11月 飛行機が飛ぶしくみ 機力って何?
- 2008年2月 雪の結晶を作ろう
- 2009年9月 色と光を分けよう
- 2010年10月 顕微鏡と望遠鏡のしくみ
- 2011年11月 宇宙服を着るってどんな感じ?
- 2012年11月 水ロケット誘導のしくみ
- 2013年8月 着陸船をふんわり着陸させよう
- 2014年5月 宇宙飛行士選抜試験に挑戦
- 2014年7月 東海地区水ロケット大会
- 2015年3月 研修旅行 明石・神戸方面
- 2015年10月 立体星図を作ろう
- 2016年10月 空力翼艇を作ろう
- 2017年5月 The solar systemって何のシステム?
- 2018年10月 大気の大気を体感しよう
- 2019年6月 創立20周年記念

分団が誕生して20年、これからも歩み続けます。新しい時代へ。